

# Weekly Report

2011～2012年度



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

平成23年9月13日(火)

## 第1596回例会

会長 中島 眞一

幹事 佐藤 進

会報 中村 和広

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ  
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>



作者の言葉  
我が百合丘ロータリークラブの  
のちのちの未来は、  
地元の有る様にかま  
こ、多摩上はのあま  
に見られ器出でこ  
知る他の花によりは  
それらにちがは  
それらにちがは  
ちとちがはする  
清く正しく、  
清純な乙女を感  
せよとある  
昭和五十二年春吉日  
大友

### 第1596回例会記録 平成23年9月13日(火) 10/46回

<点鐘> 中島眞一会長

<ソング> それこそロータリー

<お客様ご紹介> 中島眞一会長

第2590地区 ガバナー

横浜鶴見北RC 上澤摩壽雄様

第2590地区 第3グループガバナー補佐

川崎高津南RC 長戸はるみ様

第2590地区 地区副幹事

横浜鶴見北RC 石渡 宏衛様

東京町田RC 東福寺勝昭様

<会長報告> 中島眞一会長

1. 第2530地区ガバナー事務所より 先日台湾と一緒に義援金をお持ちしたお礼状をいただきました。
2. 2011～12年 地区大会新世代交換会のご案内 井上久新世代委員長、担当委員会に依頼します。10/23(日) 9:30～16:30
3. 地区大会登録のご案内 RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 11/4(金) 会長、幹事、新会員で行ってまいります。
4. 2013年規定審議会立法案の提出について
5. 地区大会送金、委任状証明書提出の件 地区大会当日、事務局の手伝いの依頼の件
6. 第2590地区ローターアクト シンボルツリー植樹式 11/12(土) 本牧山頂公園 碓井会員に依頼します。

<幹事報告> 佐藤幹事

\*文書着 川崎多摩RC 川崎中央RC  
川崎とどろきRC

\*会報着 川崎とどろきRC

\*その他

・赤い羽根共同募金のお願い。

・芸術の街研究会より 9/11(日)コンサートのご招待を受けました。

<ニコニコ委員会> 玉井委員

第2590地区 ガバナー 上澤摩壽雄様→「ガバナー公式訪問に伺いました。貴クラブの益々の発展を祈念いたします」。第3グループガバナー補佐 長戸はるみ様→「ガバナー公式訪問よろしくお願ひいたします」。地区幹事 石渡宏衛様→「いつも大変お世話になります。ガバナー公式訪問に同行してまいりました。日ごろより桐光学園インターアクトクラブをご指導、ご支援いただきありがとうございます。またロータリー青少年交換、アメリカ派遣、伴君のスポンサークラブとなっただき重ねて御礼申し上げます」。東京町田RC 東福寺勝昭様→「お世話になります」。当クラブより 中島眞一会長→「上澤ガバナー、長戸ガバナー補佐、石渡副幹事、東福寺様ようこそ来会いただきました」。佐藤幹事→「上澤ガバナー、長戸ガバナー補佐、石渡副幹事、東福寺様ようこそ来訪ありがとうございます」。以下、感謝をこめてニコニコへ。安藤登会員、安藤亨会員、安藤志子会員、井上久会員、伊丹会員、鴨志田会員、

第1598回	9月27日	会員卓話
第1599回	10月4日	招聘卓話② 米山奨学生
第1600回	10月11日	委員会報告⑥ 職業奉仕委員会

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

小塚会員、内藤会員、中島健児会員、中村会員、野島会員、東会員、佐々木会員、関山会員、嶋会員、白井会員、鈴木会員、高田会員、碓井会員、渡邊会員、山口篤会員、結城会員、玉井会員。

＜ロータリー財団＞ 関山委員

中島眞一会長→「上澤ガバナー公式訪問を記念」。  
佐藤幹事→「ガバナー公式訪問を記念して」。

＜出席委員会＞ 山口篤委員

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1596回	42*	32	10		76.19%
第1595回	42*	30	12	5	83.33%

\*出席免除会員2

＜ニコニコ・財団・米山委員会＞

	今回		累計	
ニコニコ	29件	44,000円	283件	393,245円
財団	0件	0円	10件	90,000円
ベネファクター	2件	156,000円	2件	156,000円
米山	0件	0円	10件	123,000円

**本日のプログラム**

先に第3グループガバナー補佐 長戸はるみ様よりご挨拶と上澤ガバナーの略歴のご紹介がありました。「先のクラブ協議会に続きまして、本日のガバナー公式訪問です。よろしく願いいたします」。

＜第2590地区ガバナー卓話＞ 上澤摩壽雄様

第2590地区、2011～12年度ガバナーを務めます上澤です。本日は公式訪問に伺いました。どうぞよろしく願いいたします。地区の中でも色々な活動、地区の役員として協力いただきありがとうございます。また本日例会前に、クラブの現況と活動計画を詳細に伺いました。35周年、スムーズなクラブ運営、会員の増強など、クラブの発展とまた地区へのご協力をいただけるというお話をいただきました。公式訪問の趣旨は、地区内のクラブの意欲を喚起し、ロータリーの綱領を推進することです。どうぞよろしくおねがいいたします。

先日、米国サンディエゴにおきまして、国際協議会に出席してまいりました。全世界の200を超える国・地域のロータリアンと配偶者1300余名が、地球

上のあらゆる所から集まりました。ガバナー年度に向けてロータリーの総合的な知識を学び『超我の奉仕』の理想と実践に挑んでいくのが目的です。当地区のクラブ会員皆さまと共通の夢の実現のために、勇気と実行力、精神力。そして変化を積極的に受け入れ、より良い年度を目指したいと考えております。

カルヤン・パネルジー RI会長の経歴をご紹介します。インド・グジャラート出身で1942年インドのカルクッタ生まれの69歳です。インド国内最大の農薬メーカー United Phosphorus Limited社の理事、ならびに同社のバングラデシュ支社長・会長です。現在はインド最大の工業都市グジャラート州バビに居住し、保険と教育の分野におけるインフラ整備に関与し、発展に大きく貢献しています。

2011～12年度のRIテーマは、『こころの中を見つめよう 博愛を広げるために Reach Within to Embrace Humanity』です。同時に『家族』『継続』『変化』の3つの強調事項が示されました。深く自己を省みることにより、人類が皆同じ夢、希望、願望、問題を分かち合うことを理解するために、まず自分自身を見つめなおすことからはじめてください。全世界で平和について語る前に、まず自分から始めその後外に目を向ける必要があります。心に平和を見出してこそ、家の中に平和をもたらし、家族に平和をもたらし、そして地域社会に平和をもたらし、それができるのです。同様に、全世界で平和を築こうとする前に、まず自分の家庭で平和を築き、全世界で友情と慣用のこころを育もうとする前に、まず自分の周りの人々に対して実践しなければなりません。

**3つの強調事項**

①家族

万事は家族から始まります。私たちが行う全ての奉仕、成し遂げたいことの出発点は家族です。ここから始めてこそ、人々の生活や地域社会全体を通じて世界をよりよくしていくことができるのです。

②継続

私たちが得意としている事は何かを知り、それを継続しながら次のレベルへと高めていくことです。ロータリーの奉仕での成功を土台に今後も更によくの人々に手を差し伸べていくことができるでしょう。水の提供、疾病の予防、識字力の普及、新世代のための活動や協力、平和への努力といった活動を

継続していかなければなりません。

### ③変化

平和を望むなら、家庭に、地域社会に自分自身の生活に平和をもたらすことから始めるのです。ポリオやほかの病気を世界からなくし、環境破壊に歯止めをかけ、子どもの死亡率を減らし、識字率を高め、飢えを減らしたいと望むなら、自分自身がこの変化にこそ変化の担い手となるために、自分の中に変化を起こすことの必要性を認識しなければならないのです。

『こころの中を見つめよう 博愛を広げるために』まず自分自身の心の中を見つめ直そうというテーマ、3つの強調事項のRI会長の精神と、私の今年度の方針目標が奇しくも同調していますので、その意をくみ取っていただき、今年度のクラブ運営に反映させていただきたいと思います。

### 今年度の目標、方針について

#### 1. 『ロータリーの綱領』の再確認

ロータリアンの有益な事業の基礎として、奉仕の思想を鼓吹、これを育成し、同時に行動を起こさなければなりません。奉仕理念を磨き上げましょう。

#### 2. クラブ主導・地区支援が基調

会員の自覚認識が第一です。私たちは、地域社会における人々の生活改善に貢献するため、活発で行動力のあるクラブからなる奉仕活動をする組織です。自ら行動して実践で示しましょう。

#### 3. ロータリーは五大奉仕が基本

クラブの活動が指針となり、ロータリアンの活性化を図り、充実させてください。ロータリアンの皆さんが、個人生活、事業活動、社会生活に奉仕の理想を適用し、実践してください。五大奉仕がロータリーの活動バランスを整えてくれるのです。

#### 4. 魅力あるクラブ作りと創意工夫(人格を磨こう)

魅力あるクラブ・人格を高めるロータリアンを目指しましょう。クラブの魅力とは、ロータリー情報(教育)が基礎となります。

#### 5. 新世代奉仕で未来のリーダーの夢を育む

ロータリーが新世代の育成を強力に推進し、未来の国からの贈りものをしっかり育てること、これが私たちの責務です。

#### 6. 地域に密着したロータリー活動

素晴らしい組織構造によって、地域に密着した奉仕活動を展開することです。ロータリーの存在感と実績をイメージアップし、展開することで、広

報活動にもつながります。会員増強にも連動させましょう。

#### 7. 会員増強が源、クラブの力、組織の力

各クラブ純増1名以上クラブ全会員が増強委員のつもりでお願いします。

#### 8. ロータリー一財団の寄付目標

国際ロータリーの精神を支援することに賛同しご協力をお願い致します。

・年次寄付目標は、会員120ドル以上。

・ベネファクターを各クラブ2名以上。

・ポリオのクラブ目標を達成しましょう。

#### 9. 米山記念奨学会事業へのご理解と寄付

日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学会事業で、将来日本と世界を結ぶ「かけ橋」となる人材を育成することが事業の使命です。

普通寄付一人5,000円 特別寄付一人20,000円

#### 10. 東日本大震災復興支援

3月11日発生した東日本大震災は死者・行方不明者合わせ28,505人、全壊家屋59,806戸、原発事故の誘発、産業への損害等、社会・経済に多大な打撃を与えました。この未曾有の大災害に対し我々も積極的に復興支援に参加貢献すべきと考えます。

### 長期計画

2010年7月1日から有効になった新計画では3つの大きな重点項目になっています。

#### 1. 地区とクラブのサポートと強化についての項目

①クラブの刷新性と柔軟性を育てる。

②五大奉仕部門の全部門間における調和の取れた活動を行う。

③多様性の増進。

④会員の勧誘と維持を改善する。

⑤リーダーを育成する。

⑥ロータリーを進展させる。

⑦クラブと地区における長期計画の立案を奨励する。

#### 2. 人道的奉仕の重点化と増加

①ポリオを撲滅する。

②以下の分野における奉仕の持続性を高める

・青少年と青年のプログラム

・ロータリー財団の6つの重点分野

③他組織との協力関係を拡大する。

④地元や海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造する。

### 3. 公共イメージと認知度の向上

- ①イメージとブランド認知を調和させる。
- ②行動を主体とした奉仕をPRする。
- ③中核となる価値観を推進する。
- ④職業奉仕の理想を強調する。
- ⑤クラブにおけるネットワーク作りの機会、クラブ独自の主な活動について周知するようにクラブに奨励する。

国際ロータリーの会員増強については、クラブでの会員数の減少、特に会員維持率の低下は各地区、クラブレベルと世界レベルの双方で取り組まなければなりません。全世界の会員のうち30才以下が2%、40才以下が11%、50才以下が68%となっております。会員増強に対する新しい考え方と、クラブ運営の新しいアプローチが不可欠であり、新世代のロータリアンを本当の意味で理解することも必要不可欠な事項と考えます。最近いろいろ問題とされる中、国際ロータリーの会員やクラブへの強制的な部分が問題視されています。ロータリーは、基本的には個人が主体で、奉仕活動も個人が主体です。従って国際ロータリーは決して基本原則を無視してはいません。例えば、国際ロータリーの『手続要覧』では、かなり柔らかい表現が使用されています。また、ロータリー章典において「shall」「is」「are」という単語は「義務」であることを意味し、「may」「should」という単語は「任意」を意味する解釈としてはいかがでしょうか。

ロータリーも107年が経過しました。日本でも大変古く歴史あるクラブもあり、出来たばかりの新しいクラブもあります。各々のクラブが独自性を持ち、一つのルールの中でクラブ運営をしていかなければならないのが現状です。クラブというのは、会員一人一人の有形無形の尊い先人の積み上げた財産です。

また、「寛容」の精神については、ロータリーの価値観や喜びは人それぞれであります。ポール・ハリスも、「人の考え方はその人それぞれであり、人によって考え方の違いは当たり前だ。従って、独断的なロータリーの主張は無益だ。」という考えを随所に残しております。このように、人々の価値観の相違はあるが、ロータリーにとっては一つにまとまること、それは寛容の精神、相手の善意を認める心が大切だということです。寛容の精神こそ、ロータリーが目指す友愛と親睦の堅い基盤をなす物と考えま

す。ロータリーに入会した時、先輩に自己研鑽と切磋琢磨、そして哲学倫理があると教えられました。

私は将来のロータリーはどうあるべきか、と考えた時に内部的問題と外部的な問題を真剣に考えていると思っています。ロータリー活動をする時、奉仕活動として外部へ向けてする活動が一つです。さらに内部的問題としてロータリアン自身、自分の心の中を見つめ、人間としての道徳とか倫理という人間形成を計り、常に自分を高めるといふ高度な人格作りをすることです。パネルジー R I会長のテーマを真剣に考え、今後の活動に反映させていただきたいと思います。

ロータリーも二番目の世紀に入りました。私たちは自分たちの持っているエネルギー、そしてまた信念、これを活性化させる必要があります。どんな困難に直面しようとも、それに打ち勝つように歩いていきましょう。今日もここで全員がロータリーバッヂを付けておりますが、是非これを身につけることを誇りにし、このバッヂを見るたびに、何か人間にとって、人類にとって良いことをするという責任があるのだというふうに思いましょう。この歯車数24個です。24時間つけたまま活動しましょう。

今年度、クラブ・会員の皆様の尚一層のご協力をお願い申し上げます。

